



撮影場所：伊勢神宮 どんど火（三重県伊勢市）

謹賀新年

壬寅

〈2022年〉

昨年はコロナ感染拡大が終息しない中、57年ぶりに東京での開催となるオリンピック、パラリンピックが無観客で行われましたが、テレビを通しての観戦でも感動的な試合になり、スポーツの素晴らしさを感じた人も多かったと思います。

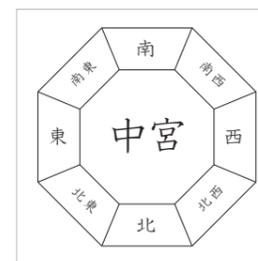
また対外的には中国による露骨な覇権的な侵略行為等も頻発し、今年も気の抜けない年となりそうです。

国内外共に難問山積の状況下で、新たな政権に期待をしたいところです。

今年「壬寅（みずのえとら）」の年で、寅年の中でも36年に一度の「五黄の寅」の年になります。

五黄とは、八方位の中央の帝王の座とも呼ばれる中宮の座に位置し、強いエネルギーを持つと言われて

います。過去の寅年の年には、朝鮮戦争勃発、急激な円高、ハレー彗星の大接近、観測史上1位の猛暑等、自然の変化も含め環境の著しい変化が起りやすい年となっています。



昨年徳真会グループでは、コロナ感染拡大の大きな変動の中でも、多くの患者様に御来院いただきました。

歯科医療の新たな治療法として極力削らない、抜かないで治すMI (Minimal Intervention) 治療の世界的第一人者であられる、元東京医科歯科大学歯学部長の田上順次先生が入社され、歯科治療の選択肢が広がった年でもあります。

今年、徳真会グループでは次の課題に取り組ませていただきます。

① <診療部門>

- 1、在宅サービスの拡充
(新潟、東京、福岡、大阪に加え、仙台地区でも準備開始)
- 2、無料送迎サービスの拡充
(新潟全地区に加え、福岡、仙台地区でスタート)
- 3、保育士による、患者様のお子様無料一時預かりサービスの拡充(全地区)
- 4、MI治療の普及
- 5、待ち時間対策の徹底
- 6、歯科衛生士による予防管理体制の充実
- 7、リマインドメールによる予約、リコールの告知システムスタート
- 8、クリニックマネージャーの育成増強による現場対応力の強化

② <技工部門>

- 1、国内外拠点の連携によるあらゆる分野の技工物の品質向上と納期短縮
- 2、リモート活用によるチェアサイドで患者様とドクター、技工士との情報共有により、患者様満足度の高い技工物の作製
- 3、口腔内デジタル印象の活用により、患者様へ負荷がかからず、精度の高い技工物の作製技術拡大普及
- 4、国内外技工所との連携強化による、外貨獲得産業への業態改革

③ <管理部門>

- 1、IT化、デジタル化の推進強化による運営精度の向上と効率化
- 2、Tケア(グループ内清掃、営繕会社)による施設管理、清掃滅菌の徹底

以上を今年の課題とし、より充実した診療現場を創ってゆきます。お気づきの点や、御要望があれば何なりとご指摘いただければ幸いです。(徳真会患者様ご相談窓口 TEL:0120-24-7072)

今年も皆様にとって良い年となります様、祈念しております。

2022年 正月

徳真会グループ
代表 松村 博史